



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社サンマルクホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3395 URL <https://www.saint-marc-hd.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）藤川 祐樹
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）岡村 淳弘 TEL 086-246-0309
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月9日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	43,585	32.3	2,363	29.4	2,250	13.7	1,048	△37.3
2025年3月期中間期	32,947	4.6	1,826	92.6	1,980	85.3	1,672	222.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,105百万円（△34.1％） 2025年3月期中間期 1,677百万円（216.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	48.22	—
2025年3月期中間期	81.84	67.47

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	68,491	30,262	44.2
2025年3月期	71,461	30,856	43.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 30,262百万円 2025年3月期 30,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2026年3月期	—	26.00			
2026年3月期（予想）			—	26.00	52.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	24.1	5,000	37.2	4,800	25.0	2,300	△9.5	107.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	22,941,111株	2025年3月期	22,941,111株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	1,512,334株	2025年3月期	1,058,319株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	21,752,531株	2025年3月期中間期	20,435,590株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報 「参考資料」	12
(1) 仕入実績	12
(2) 販売実績	12
(3) 種類別販売実績	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げによる所得環境の改善ならびに6月、7月の一時的な減速を除き、堅調なインバウンド需要を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の政策動向、ロシア・ウクライナ危機の長期化や緊迫する中東情勢などによる地政学リスクの高まり、原材料・エネルギー価格の高騰、円安の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、経済活動の正常化による人流の回復が定着していく一方、原材料費の高騰、人件費の増加に加え、物価高騰による消費マインドの弱含みにより、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、中期経営計画における基本方針に掲げた各施策について取り組んでまいりました。鎌倉パスタ業態におきましては、派生業態の出店、お客様の快適さ及び従業員の動線に配慮した店舗の改装を継続することで業態のブラッシュアップを図っております。サンマルクカフェ業態におきましては、価格転嫁による収益力の向上を図るとともに、期間限定メニューの開発に注力し、魅力的な商品を提供することで客数を維持向上させ既存店の競争力の強化に取り組んでまいりました。また、第三の柱となる牛カツ定食業態につきましては、国内外での出店を継続しつつ、買収後の業務統合を推進することで、グループへの貢献度を高めてまいりました。

新規出店の状況につきましては、当中間連結会計期間中に生麺専門鎌倉パスタ直営店2店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営店4店舗、サンマルクカフェ直営店1店舗、喫茶マドラグ直営店1店舗、牛カツ京都勝牛直営店3店舗、フランチャイズ店4店舗、牛かつもと村直営店1店舗をそれぞれ出店（当中間連結会計期間出店数：直営店12店舗、フランチャイズ店4店舗）し、これにより当社グループ全業態の当中間連結会計期間末の合計店舗数は、直営店817店舗、フランチャイズ店60店舗、合計877店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当中間連結会計期間の経営成績は、売上高435億85百万円（前年同期比32.3%増）、経常利益22億50百万円（前年同期比13.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は10億48百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は294億18百万円（前年同期比50.3%増）、営業利益は19億50百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

喫茶事業売上高は141億66百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は15億81百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、総資産は684億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して29億70百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は197億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億6百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が7億39百万円、売掛金が5億80百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は487億円となり、前連結会計年度末と比較して16億63百万円の減少となりました。これは償却に伴いのれんが8億66百万円、商標権が2億26百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は117億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して45億56百万円の減少となりました。これは主に短期借入金40億円、未払金が7億65百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は264億35百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億79百万円の増加となりました。これは主に長期借入金22億53百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して5億93百万円減少し、302億62百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.2%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動の結果得られた資金は41億53百万円となり、この主なものは税金等調整前中間純利益20億70百万円及び減価償却費23億92百万円をそれぞれ計上したこと等によるものであります。投資活動におきましては17億81百万円の資金を使用し、この主なものは有形固定資産の取得による支出15億46百万円等によるものであります。財務活動におきましては31億47百万円の資金を使用し、この主なものは短期借入金の返済による支出（純額）40億円、自己株式の取得による支出11億82百万円、ならびに配当金の支払額5億68百万円の計上があった一方、長期借入れによる収入（純額）26億4百万円があったことによるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して7億39百万円減少し、135億8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

インバウンド需要の拡大が想定を上回ったことに加え、各業態の既存店の競争力向上に向けた取り組みが奏功したこと、付加価値を加えた商品開発による価格転嫁が進んだことにより、上半期の売上高及び各段階損益は業績予想を上回る結果となりました。下半期においては、上記で触れた上半期の経営環境が継続するとの前提のもと、最近の業績の動向も踏まえ、2025年5月13日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 81,000	百万円 4,500	百万円 4,400	百万円 2,000	円 銭 91.40
今回修正予想(B)	88,000	5,000	4,800	2,300	107.33
増 減 額 (B - A)	7,000	500	400	300	—
増 減 率 (%)	8.6	11.1	9.1	15.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	70,895	3,644	3,839	2,540	123.62

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,247,481	13,508,295
売掛金	5,981,944	5,401,530
原材料及び貯蔵品	417,401	472,805
その他	840,934	819,520
貸倒引当金	△390,066	△411,161
流動資産合計	21,097,696	19,790,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,676,471	12,525,322
土地	3,648,228	3,648,228
その他(純額)	1,387,610	1,229,594
有形固定資産合計	17,712,310	17,403,144
無形固定資産		
のれん	16,890,320	16,024,149
商標権	4,417,737	4,191,394
その他	89,671	133,391
無形固定資産合計	21,397,729	20,348,936
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,995,498	7,951,369
その他	3,259,826	2,998,266
貸倒引当金	△1,070	△1,070
投資その他の資産合計	11,254,255	10,948,565
固定資産合計	50,364,295	48,700,646
資産合計	71,461,991	68,491,636
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,223,444	2,936,193
短期借入金	5,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,750,008	2,100,204
未払金	3,672,931	2,907,432
未払法人税等	851,574	1,043,258
引当金	93,069	96,079
資産除去債務	49,355	58,444
未払消費税等	791,097	825,701
その他	918,117	825,865
流動負債合計	16,349,598	11,793,178
固定負債		
長期借入金	16,249,992	18,503,959
退職給付に係る負債	850,230	892,217
資産除去債務	5,606,877	5,631,878
その他	1,548,743	1,407,767
固定負債合計	24,255,843	26,435,822
負債合計	40,605,441	38,229,001

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,738,717	4,738,717
資本剰余金	6,046,339	6,046,339
利益剰余金	22,471,967	22,947,024
自己株式	△2,372,211	△3,497,833
株主資本合計	30,884,812	30,234,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,231	71,041
退職給付に係る調整累計額	△78,494	△42,654
その他の包括利益累計額合計	△28,262	28,386
純資産合計	30,856,549	30,262,634
負債純資産合計	71,461,991	68,491,636

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	32,947,767	43,585,534
売上原価	7,933,057	11,619,931
売上総利益	25,014,710	31,965,602
販売費及び一般管理費	※1 23,188,486	※1 29,601,982
営業利益	1,826,223	2,363,620
営業外収益		
受取利息	1,023	3,928
受取配当金	2,251	2,504
受取賃貸料	95,755	87,377
受取補償金	123,018	—
その他	41,259	27,183
営業外収益合計	263,308	120,994
営業外費用		
支払利息	—	137,311
支払賃借料	88,614	71,037
その他	20,694	25,396
営業外費用合計	109,309	233,745
経常利益	1,980,223	2,250,868
特別利益		
固定資産売却益	448	—
特別利益合計	448	—
特別損失		
固定資産除却損	44,707	44,008
減損損失	171,458	114,486
貸倒引当金繰入額	—	22,000
退職給付費用	※2 247,465	—
債権放棄損	※3 44,000	—
特別損失合計	507,632	180,494
税金等調整前中間純利益	1,473,039	2,070,373
法人税、住民税及び事業税	420,989	950,794
法人税等調整額	△620,307	70,760
法人税等合計	△199,317	1,021,555
中間純利益	1,672,357	1,048,818
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	1,672,357	1,048,818

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,672,357	1,048,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,204	20,809
退職給付に係る調整額	—	35,839
その他の包括利益合計	5,204	56,649
中間包括利益	1,677,561	1,105,467
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,677,561	1,105,467
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,473,039	2,070,373
減価償却費	1,012,740	2,392,246
減損損失	171,458	114,486
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,263	2,723
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	254,968	41,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△315,401	21,094
受取利息及び受取配当金	△3,349	△6,433
受取補償金	△123,018	—
支払利息	—	137,311
固定資産売却益	△448	—
固定資産除却損	44,707	44,008
債権放棄損	44,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,045,967	592,682
棚卸資産の増減額(△は増加)	△25,430	△37,477
仕入債務の増減額(△は減少)	△208,100	△294,175
未払金の増減額(△は減少)	△557,127	△75,236
その他	355,938	93,874
小計	3,171,206	5,096,978
利息及び配当金の受取額	2,318	5,221
補償金の受取額	123,018	—
利息の支払額	—	△136,757
法人税等の支払額	△587,469	△811,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,709,074	4,153,509
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,126,584	△1,546,457
有形固定資産の売却による収入	453	—
無形固定資産の取得による支出	△1,009	△53,164
関係会社貸付けによる支出	△44,000	△22,000
資産除去債務の履行による支出	△245,686	△146,056
その他	191,703	△13,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,225,124	△1,781,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△231	△1,182,749
短期借入れによる収入	—	1,000,000
短期借入金の返済による支出	—	△5,000,000
長期借入れによる収入	—	3,500,000
長期借入金の返済による支出	—	△895,837
配当金の支払額	△510,655	△568,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510,886	△3,147,247
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	973,062	△775,390
現金及び現金同等物の期首残高	16,663,120	14,247,481
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	36,204
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 17,636,183	※ 13,508,295

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月13日及び2025年2月25日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式477,300株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が1,182,749千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が3,497,833千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

(当座貸越契約)

当社においては、前連結会計年度においてM&Aを実施したこと等に伴い手元資金水準が低下したため、当社グループの経営の安定性を確保するため、取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。契約に基づく当中間連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
当座貸越極度額	15,500,000千円	9,000,000千円
借入実行残高	5,000,000	1,000,000
差引額	10,500,000	8,000,000

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
給与賞与	9,851,592千円	12,483,353千円
賞与引当金繰入額	85,714千円	96,079千円
賃借料	4,601,953千円	5,416,541千円

※2. 退職給付費用の内容

退職給付費用の算定方法を簡便法から原則法へ変更したことによるものであります。

※3. 債権放棄損の内容

非連結子会社であった株式会社サンマルクイノベーションズに対する債権放棄によるものであります。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	17,636,183千円	13,508,295千円
現金及び現金同等物	17,636,183千円	13,508,295千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			調 整 額 (注) 1	中間連結損益計算書 計上額 (注) 2
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	19,203,018	13,128,358	32,331,377	—	32,331,377
ロイヤリティ収入	41,331	23,051	64,382	—	64,382
FC関連等売上	329,631	222,376	552,007	—	552,007
外部顧客への売上高	19,573,981	13,373,786	32,947,767	—	32,947,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,573,981	13,373,786	32,947,767	—	32,947,767
セグメント利益	1,605,651	1,221,536	2,827,188	△1,000,964	1,826,223

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,000,964千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで134,123千円、「喫茶」セグメントで37,335千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			調 整 額 (注) 1	中間連結損益計算書 計上額 (注) 2
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	28,747,312	13,911,296	42,658,609	—	42,658,609
ロイヤリティ収入	115,324	25,311	140,636	—	140,636
FC関連等売上	555,980	230,308	786,289	—	786,289
外部顧客への売上高	29,418,617	14,166,917	43,585,534	—	43,585,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,418,617	14,166,917	43,585,534	—	43,585,534
セグメント利益	1,950,109	1,581,836	3,531,946	△1,168,325	2,363,620

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,168,325千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」セグメントにおいて、当中間連結会計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで102,612千円、「喫茶」セグメントで11,874千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当中間連結会計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	8,564,864	171.3
喫茶	3,098,845	105.2
合計	11,663,710	146.8

(2) 販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	29,418,617	150.3
喫茶	14,166,917	105.9
合計	43,585,534	132.3

(3) 種類別販売実績

当中間連結会計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	28,747,312	149.7	115,324	279.0	555,980	168.7	29,418,617	150.3
喫茶	13,911,296	106.0	25,311	109.8	230,308	103.6	14,166,917	105.9
合計	42,658,609	131.9	140,636	218.4	786,289	142.4	43,585,534	132.3